

建設文教常任委員会

開催日	令和4年9月16日
時間	午前9時30分～午前11時47分
場所	委員会室
出席議員	岡山 克彦、山内 徳彦、成田 義之、久野 茂 飛永 勝次、大塚 祥之、浅妻 奈々子 (野々部 享議長)
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 河口企画部長 石黒企画部次長兼人事秘書課長 林企画政策課長 岩田総務部長 飯田総務部次長兼財産管理課長 服部財政課長 長谷川建設部長 猿渡建設部参事 村瀬土木課長 川村土木課課長補佐 鈴木都市計画課長 木村都市計画課課長補佐 近藤都市計画課課長補佐 伊藤上下水道課長 中野上下水道課課長補佐 前田新清洲駅周辺まちづくり課長 吉田会計管理者 齊藤教育長 加藤教育部長 山本教育部参事 吉野学校教育課長 大沼学校教育課課長補佐 瀬尾学校教育課課長補佐 浅野生涯学習課長 藤田生涯学習課課長補佐 柴垣生涯学習課課長補佐 佐藤スポーツ課課長補佐 宮田スポーツ課主任主査 吉田学校給食センター管理事務所長 鈴木学校給食センター管理事務所所長補佐 三輪監査委員事務局長
関係職員	栗本議会事務局長 後藤議会事務局次長兼議事調査課長 鈴木議事調査課係長
議案または協議事項	1. 建設文教常任委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

皆さん、おはようございます。

事前に、飛永委員より電子機器の持込み申請がありましたので、許可をいたしました。

定刻となりましたので、ただいまから建設文教常任委員会を再開いたします。

傍聴者はお見えですか。

議事調査課係長 (鈴木 栄治君)

一般傍聴者はお見えになりません。

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

本日は、教育委員会の所管について審査していただきます。

それでは、最初に、認定第1号 令和3年度清須市一般会計決算認定について、所管ごとに歳入歳出続けて説明をお願いいたします。

吉野学校教育課長。

学校教育課長 (吉野 厚之君)

学校教育課長の吉野でございます。よろしくをお願いいたします。

それでは、認定第1号について、建設文教常任委員会教育部所管分の歳入を一括で御説明いたします。

最初に、決算書の20、21ページを御覧ください。

中段より少し下の段のところ、14款使用料及び手数料、1項使用料、7目消防使用料、予算現額254万6千円、収入済額178万5千550円、1節消防使用料で、新川ふれあい防災センターと庄内川水防センターの使用料でございます。

次に、8目教育使用料、予算現額2千44万1千円、収入済額1千466万9千740円、1節幼稚園使用料から3節保健体育使用料まででございます。主なものは、幼稚園の預かり保育料や社会教育施設、社会体育施設の使用料でございます。

次に、3枚おめくりいただきまして、26、27ページを御覧ください。

中段の15款国庫支出金、2項国庫補助金、6目教育費国庫補助金、予算現額2億1千528万7千円、収入済額2億1千221万5千60円です。1節小学校費補助金から5節保健体育費補助金まででございます。主なものは、清洲東小学校の長寿命化等改修工事に対する学校施設環境改善交付金、GIGAスクールサポーター配置事業に対する公立学校情報機器整備費補助金、

幼保無償化に伴う子育てのための施設等利用給付交付金でございます。

次に、16款県支出金、2枚おめくりいただき、30、31ページを御覧ください。下のほうの段でございます。2項県補助金、8目教育費県補助金、予算現額7千238万7千円、収入済額6千974万1千30円、1節教育総務費補助金から4節教育支援体制整備事業費補助金まででございます。主なものは、放課後子ども教室推進事業費補助金と私立幼稚園授業料等軽減補助金でございます。

次に、3項県委託金、1枚おめくりいただきまして、32、33ページを御覧ください。中段の5目教育費委託金、予算現額66万3千円、収入済額52万2千778円、1節教育総務費委託金から3節教育幼稚園費委託金まででございます。主なものは、キャリアスクールプロジェクト事業委託金、清洲中と西枇杷島第1幼稚園の道德教育支援事業費委託金でございます。

1枚おめくりいただきまして、34、35ページを御覧ください。

18款寄附金、1項寄附金、4目教育費寄附金、予算現額100万1千円、収入済額100万円、1節教育総務費寄附金と2節中学校費寄附金です。新川中学校を卒業された方からの寄附金でございます。

次に、19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、予算現額9億2千90万4千円、収入済額9億2千90万4千円、1節基金繰入金のうち1枚おめくりいただきまして、36、37ページを御覧ください。一番上の欄の備考欄のところ、教育部所管分が一番下の義務教育施設整備基金繰入金2億9千万円です。桃栄小学校長寿命化等改修工事、西枇杷島小学校消火設備改修工事、清洲東小学校体育館屋根防水改修工事及び新川小学校南東側歩道橋改修工事に充当したものでございます。

次に、21款諸収入、5項雑入、2目雑入、予算現額6億4千860万9千円、収入済額6億4千202万5千156円、収入未済額1千523万509円、2枚おめくりいただきまして、40、41ページを御覧ください。9節教育費雑入です。収入未済額526万5千668円は、学校給食費でございます。主なものは、新川高等学校の用地使用賃貸借料、スポーツ振興くじ助成金、学校及び幼稚園の給食費でございます。

次に、22款市債、1項市債、3目教育債、予算現額2億8千万円、収入済額2億2千万円、1節小学校債と2節保健体育債です。1節小学校債は、清洲東小学校の長寿命化等改修工事に充当したものでございます。2節保健体育債は、アルコ清洲メインアリーナ非構造部材耐震改修工事及びカルチバ新川舞台音響設備等更新工事にそれぞれ充当いたしました。

以上が、教育部所管の歳入でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

生涯学習課長。

生涯学習課長（浅野 英樹君）

生涯学習課長の浅野でございます。

引き続き、歳出について、衛生費に係る生涯学習課所管分を説明させていただきます。

72、73ページを御覧ください。

4款衛生費、1項保健衛生費、3目環境衛生費、16節公有財産購入費、そのうち生涯学習課所管分は、備考欄一番下の一場公民館整備費は、一場公民館の用地取得に伴う償還金等1千752万4千695円です。

衛生費に係る生涯学習課所管分は以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野学校教育課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長の吉野でございます。

引き続き、学校教育課所管分を説明させていただきます。

88、89ページを御覧ください。

10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費、予算現額228万2千円、支出済額211万7千638円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、教育委員4人分の教育委員会委員報酬でございます。

次に、2目事務局費、予算現額4億3千639万4千円、支出済額4億2千590万2千133円、1節報酬から1枚おめくりいただきまして、90、91ページを御覧ください。22節償還金、利子及び割引料まででございます。主なものは、教育行政の円滑な運営を進めるための教育事務費、県教職員派遣負担金、私立高等学校授業料等補助金と幼保無償化に伴う私立幼稚園に対して支給する施設等利用費の私立学校等振興費でございます。

次に、2項小学校費、1目学校管理費、予算現額10億5千917万7千458円、支出済額10億73万6千388円、1節報酬から21節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものは、学校医等の報酬などの小学校事務費、光熱水費及び施設の維持管理のための小学校管理費、小学校8校の体育館に空調整備するための実施設計費や桃栄小学校の長寿命化等改修工事費

などの小学校整備費でございます。小学校整備費のうち令和2年度からの繰越事業といたしましては、清洲東小学校の長寿命化等改修工事監理委託料と工事費でございました。

1枚おめくりいただきまして、92、93ページを御覧ください。

2目教育振興費、予算現額6千930万688円、支出済額6千368万504円、7節報償費から19節扶助費まででございます。主なものは、各種教材、学校図書などを整備する各小学校教育振興費、ランドセル等の小学校入学祝品費及び英和辞典を贈呈した小学校卒業記念品費、要保護・準要保護児童などの就学を援助するための小学校要保護・準要保護児童援助費でございます。

次に、3項中学校費、1目学校管理費、予算現額2億7千847万8千円、支出済額2億7千481万4千746円、1節報酬から1枚おめくりいただきまして、94、95ページを御覧ください、21節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものは、学校医等の報酬などの中学校事務費、光熱水費及び施設の維持管理のための中学校管理費、中学校4校の体育館に空調を整備するための実施設計費、清洲中学校の水道管改修工事費などの中学校整備費でございます。

次に、2目教育振興費、予算現額6千234万4千円、支出済額5千698万6円、7節報償費から19節扶助費まででございます。主なものは、各種教材、学校図書、教師用学習指導書などを整備する各中学校教育振興費、卒業を祝う中学校卒業記念品費、要保護・準要保護生徒などの就学を援助するための中学校要保護・準要保護生徒援助費でございます。

次に、4項幼稚園費、1目幼稚園管理費、予算現額8千708万4千700円、支出済額8千67万4千24円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、西枇杷島第1幼稚園として学校医等報酬、光熱水費及び施設の維持管理のための西枇杷島第1幼稚園管理費、各種教材や図書などを整備する西枇杷島第1幼稚園教育振興費でございます。幼稚園管理費のうち令和2年度からの繰越事業といたしましては、公共下水道接続工事監理委託料と工事費でございました。

学校教育課所管分は以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅野生涯学習課長。

生涯学習課長（浅野 英樹君）

生涯学習課長の浅野でございます。

引き続き、生涯学習課所管分を説明させていただきます。

5項社会教育費、1目社会教育総務費、予算現額1億1千283万6千円、支出済額1億1千124万9千702円、1節報酬から1枚おめくりいただきまして、96、97ページを御覧ください、18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、生涯学習講座等実施などを行う生涯学習推進費、第2次男女共同参画プラン策定費、文化協会のほか各種団体の補助金です。

次に、2目公民館費、予算現額9千516万7千円、支出済額9千381万8千643円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、清洲市民センター、春日公民館の管理費と改修工事などの整備費でございます。

次に、3目文化財保護費、予算現額1千7万3千円、支出済額966万6千452円、1節報酬から1枚おめくりいただきまして、98、99ページを御覧ください、18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、指定文化財補助金などの文化財保護費、西枇杷島問屋記念館と市立図書館内の歴史資料展示室の管理費などでございます。

次に、4目社会教育施設費です。予算現額2億1千906万円、支出済額2億1千715万1千752円、7節報償費から14節工事請負費まででございます。主なものは、にしびさわやかプラザ、西枇杷島会館の管理費と夢広場はるひの指定管理料を含む管理費と改修工事等の整備費でございます。

生涯学習課所管分は以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

引き続き、スポーツ課所管分を説明させていただきます。

6項保健体育費、1目保健体育総務費、予算現額7千284万6千円、支出済額6千681万9千392円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、清須ウォーク、東京2020オリンピック・パラリンピック費及び体育協会、子ども会のほか、各種団体の補助金等です。

次に、2目体育施設費、予算現額4億9千59万1千円、支出済額4億4千787万5千873円、1節報酬から1枚めくっていただき、101ページを御覧ください、21節補償、補填及び賠償金までです。主なものは、清洲勤労福祉会館、新川地域文化広場の指定管理費を含む管理費と改修工事等の整備費及び屋内・屋外体育施設の管理費と改修工事等の整備費です。

スポーツ課所管分は以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉田給食センター所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田でございます。

引き続き、学校給食センター管理事務所所管分を御説明させていただきます。

3目給食センター費、予算現額6億1千705万4千854円、支出済額6億954万8千4円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、学校給食センター施設の管理費及び学校・幼稚園給食の賄い材料費などの運営費でございます。

建設文教常任委員会教育部所管分の説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ただいまから審議に入るわけですが、質疑者、あるいは答弁者は必ず挙手をしていただき、指名の後、名前を名のってから、質疑、あるいは答弁に入ってくださいようお願いいたします。

なお、質疑についてはページごとに行います。

それでは、歳入20、21ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

26、27ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

30、31ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

32、33ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

34、35ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

36、37ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

40、41ページ。

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

浅妻です。

教育費雑入のところで、先ほど収入未済額が給食費であるというふうにお答えいただいていたんですけども、これは、人数にすると何名ぐらいから回収できていないのかということと、今、給食費の回収が引落しだと思えます、最初の引落しの手続をずっとしてもらえずに未回収になるパターンが多いのか、どういったことが具体的に原因で未回収となる場合が多いのか教えてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉田給食センター所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田です。

まず、最初の御質問でございます。未納者の人数でよろしいでしょうか。

令和3年度分の現年度分の未納者の数でございますが、こちらについては、小中学校合わせて57名でございます。過年度分のほうは人数にしまして、66人の方が未納となっております。

続きまして、次の質問でございますが、基本的に学校給食費は教材費のほうと合わせて小学校1年生に入られたときに申出をいただいた口座のほうから引落しをさせていただいております。

未納となるケースについては、確かに、現金で取り扱っておるケースも少しはございますけども、基本的には口座のほうに引き落とす額が入っていないというようなケースが多いかと思われまます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

多分、未回収額が増えるほど一般財源で補填していかなければいけなくなると思います。生活保護世帯の方とか家計が苦しい方については恐らく既に免除等をされていると思うので、理論上は支払える経済力があって支払っていない方々になると思います。また、学校等については、家庭と比較的連絡が取りやすいと思いますので、ぜひ、不平等感をなくすためにも回収率を上げていただきたいと思うんですけども、今後、回収率を上げていくためにどのようなことを考えられているか、お伺いしてよろしいでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

まず、在校生についてでございますが、こちらは平成29年度から在校生・卒業生も含めてですが、回収率を上げるということで強化を図っております。在校生については毎年、年2回、懇談会のときに給食センターのほうから納付勧告書というものをお出しさせていただいて、併せて、児童手当のほうから給食費を納めていただきたい旨のお話をさせていただいております。

卒業生につきましては、あと転出していった方、それらの方につきましては、給食センターのほうから、まず当然支払勧告書・催告書を出させていただきます。そこでもなかなかうまくお話し合いができないということになると直接私どものほうから出向く、または電話をさせていただいて、分割納付のお願いなどをしていただいておりますという状況でございます。

その中で、そういったお話の場にも来ていただけないような少し悪質なケースにつきましては、簡易裁判所のほうに支払督促の申立をさせていただいております。昨年度も4名の児童生徒の申立をしております。また昨年度初めてでございますが、1件強制執行、差押えをさせていただいております。金額につきましては12万円程度でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

最終的には、ほぼほぼ回収が今できているような状況なんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

現年度分につきましては、基本、在校生のものということになりますが、徴収率としましては、例年99.5%とか99.6%でずっと来ております。こちらのほうは在校中になかなかセンターが厳しく取り立てるといことも学校運営上、問題があるという部分もございますので、担任の先生、学校の先生のほうと協力し合っということにはなります。

過年度分につきましては、私どももいろいろ動かしてはいただいておりますけども、20%を超えるぐらいの徴収率まではいかないというようなところで、17%、18%ぐらいのところでの4・5年止まっておる状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

多分、回収率を上げようと思って動いていただくと、また、それもそれでいろいろ人件費がかかると思うんですけども、今お伺いしまして、大変丁寧にやっいただいていると思います。一部現金で取扱いもあるというようなお話もありましたが、保護者が支払いやすい方法なんかも考えつつ、今後も引き続きやっただければなと思います。

ありがとうございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほかありませんか。よろしいですね。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

下のほうの教育債、小学校債、その下の保健体育債なんですけど、説明で9千800万円はアルコとカルチバのそれぞれの設備等々の修繕で使いましたとお話ございました。こういった公共の関係の施設については管理計画をつくられていると思うんですけど、今回の修繕というのは管理計画にのっとったものでしょうか。それとも何らかの故障、不具合が生じたものに対して緊急的なものだったんでしょうか。

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

御質問のとおり、管理計画に基づいたものでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

管理計画を基に順調に進められておって、ほかの所管の施設も同じように計画をつくってやられとるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

当局、答弁。

総務部次長兼財産管理課長（飯田 英晴君）

財産管理課の飯田です。

ほかの施設につきましては、大規模な修繕等もございますので、全てが管理計画に基づいた整備費ではございません。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

できるだけ事前に分かって管理保全を計画的に執行していくと、緊急的な支出というのが低く抑えられるので、学校校舎に関しても長寿命化というものを6年前スタートしてやっておる、これは後で質問します。アルコもカルチバも設備が更新されなきゃいけないとか、建物の形状が非常に経年劣化が激しい、雨漏りとか、そういったものが以前もあったということも聞いてますから、もう一度しっかり計画・調査して、例えば、設備なんかは何年更新に対してどれだけ劣化しているとかいうことやなんかも、事前に調べておいたほうがいいんじゃないかなと思います。設備がきちっと稼働しないと、アルコ、カルチバなんかは特に人気で皆さんが使われとるものですから、こういったことを進めていただきたいと思いますけども、御検討いただけますでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飯田課長。

総務部次長兼財産管理課長（飯田 英晴君）

設備等につきましては確かに不具合等が多く出ておりまして、現在調査をしておる段階でございます。また、計画を立てて、リニューアルというか、整備のほうは進めている最中でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

次に、歳出へ行きます。

72、73ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

88、89ページ、よろしいですね。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

90、91ページ。

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

放課後子ども教室費について伺います。

青いほうの297ページになります。

現在、全ての小学校で開かれておりまして、保護者としては大変ありがたい取組だと思っております。内訳を見ますと、各小学校の人数規模の違いから、利用者にも結構差がありまして、多いとこだと286名、少ないところだと69名というように差があるんですけども、消耗品費及び修繕費等々は人数で割り振られているのか、各学校で一律なのか教えていただきたいです。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野学校教育課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長、吉野でございます。

消耗品や修繕費の需用費につきましては、清洲小学校が人数について突出しておりましたので、令和3年度までも清洲小学校はほかの7か所よりも少し多い予算を取っておりました。しかし、もっと人数の差が大きいものですから、いろいろな御意見も聞いておりましたので、令和4年度からはもっと人数を反映した予算額としております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

浅妻です。

ありがとうございます。

現場のほうからもやはり声が上がっておりまして、ボランティア等々からも人数を反映していただかないと、なかなか子どもたちへの均等な指導ができないというような声も聞いております。今、割り振っていただいているということなので、現場の声をほかのところも、今、清洲小だけが多く配分されているような状況ということでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

令和3年度まではそのような予算になっております。大体、額で申し上げますと、清洲小学校が16万円程度、それ以外のところが大体13万円程度というような予算になっておりました。しかしながら、令和4年度からは清洲小学校は26万円程度、10万円ほど増やさせていただいております。ほかの他地区につきましても人数で多少の差をつけておるところでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

不平等が出ないように人数割でということを進めていただけるといいかなと思いますので、各

学校の声聞きながら予算の割り振りをお願いしたいと思います。

ありがとうございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

91ページの上のほうの教育指導費の適応指導教室費6万350円とあって、適応指導教室のことは主要施策の成果報告書に大概いつもページが設けてあって、何名見えてどういう対応をしたということの報告があると思うんですが、今回見当たらなかったのと、この6万350円はどうしちゃったのかなと思ったんです。令和3年度の適応指導教室の運営状況についてお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野学校教育課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長、吉野でございます。

適応指導教室の主要施策の成果報告につきましてでございますが、昨年度の時点でも飛永委員のほうからそういった御指摘があったことは承知しております。その時点では既に令和3年度の主要施策の概要、いわゆる黄本のほうが既にできておったものですから、それと対照するということで、令和3年度のほうの成果報告のほうには挙げておらない状況なんです、令和4年度の主要施策の概要のほうには適応指導教室のほうをしっかりと挙げさせていただいておりまして、令和4年度の成果報告のほうにはきちんと載せてまいりたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

あと6万350円、何のお金か、すみません。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

こちらのほうは消耗品費、通信運搬費、そういったものに使用しております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

適応指導教室は学校に行けなくなった子どもたちの、ある意味受皿になっているところだと思いますが、2年続けて成果報告にはなくて、予算とか僕は読んでないので、見てこなかったの申し訳ないんですけども、現在不登校の子どもたちの状況、小・中合わせて、例えば、逆にここに通えてる子どもたちと不登校の子たちって数って今分かるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長、吉野でございます。

令和3年度におきましては、不登校の児童が63名、中学校が122名ということになっておりますが、それに対しまして適応指導教室に登録しておる子どもは全部で22名ということになっております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

例えば令和3年度の不登校の数なんですけども、僕が初めて調べたときよりどんどん増えちゃっていると思うんです。数字は調べていませんが、そんなイメージがしています。いわゆる学校側から見た不登校の定義があって、何日以上出てこなかったら不登校で、2日、3日休んでるから不登校じゃないよという見方をされていると、不登校の予備軍みたいな子がたくさんいると思うんですが、こういった子も増えてるって考えてもいいんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

不登校傾向の人数も同様に、少なからず増えているというふうには認識しております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

そのことに関しての対応をどうしていくか、また後で聞きますけども、適応指導教室が登録が22名、ではここに通っている子は何名ですか。登録ということは、多分登録だけして来てないという子もいますよね。どんな感じなんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

令和3年度のところでは、1日以上10日未満通っている子どもが8名、10日以上50日未満通っている子が5名、50日以上100日未満通っている子が1名、100日以上通っている子が1名というような状況になっております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

そうすると、7名の人が登録だけして来てないという計算になりますね。あまり質問していると時間がなくなっちゃうんですけど、不登校のお子さんたちに対して、いわゆる学校の先生方から見た定義に当てはまる子どもたちが、小・中合わせて200人近くいるわけですね。そうじゃない予備軍の子がまたいると。どんどん増えてる状況なんですけど、清須市は人口も増えてるので増えるという見方もできると思うんですけども、こういう子たちに対して今までの対策と課題、あと今後どのようにしていくべきか、コメントを1個だけいただけますか。複雑な問題なので、多分、一言でなかなか言えんと思うんですけども、傾向、課題、今後。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

教育部参事。

教育部参事（山本 由佳君）

教育部の参事、山本です。

不登校の増えている、それから不登校傾向が増えているとお話がありました。各学校もそれぞれ大きな問題と捉えておられて、ある学校ではサポートルームというようなところをつくって、不登校に対応したりとかしております。

また、不登校については原因が様々、10人いれば10通りということがありますので、適応教室だったりとか、保健室の登校だったりとか、別室だったりとか、いろんなところで学校のほうも対応していつていると聞いております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

サポートルームをつくって、学校へ来れないだろうからここならいいよ、ということで一応区別をして受入れをするわけですね、その人に合わせて。区別って差別を助長すると思うんですが、こういった捉え方、考え方って、お子さんと思うんですけど、どんなふうにお考えですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山本教育部参事。

教育部参事（山本 由佳君）

教育部参事、山本です。

今、差別というお話がありましたが、サポートルームに行く行かないに関しても、子どもの意見を相談をして尊重して決めております。学校のほうに聞いても、クラスの子たちからそういった発言もないというふうに聞いておりますので、差別というふうには捉えておりません。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

社会問題の課題の1つで対応は大変でしょうけども、あらゆる事例とかしっかり取り込んでいただいて、我が市の小・中学生の子たちが希望を抱いて日々勉学に励んでいけるよう、サポートをしっかりといただけるようよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

続きまして、92、93ページ。

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

浅妻です。

教育振興費の中の小学校入学祝品費についてお伺いします。

これについては、内容についてですが、本市では新1年生にランドセルのお祝い品があり、保護者はもちろん他市からもうらやましいと声がかかることの1つで、非常にいい取組だと思うので、続けていただきたいと思いますが、現在プレゼントされるものは、女の子が赤、男の子が黒と決められております。これからは性別による決められた概念に左右されないジェンダーレスの取組が必要だと思いますが、例えば、同じ赤と黒でも選択ができるとか、茶色とか紫のような中間色を今後つくられるというようなお考えはありますでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野学校教育課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

委員御指摘のように、トランスジェンダーや男女の性差による固定概念など、多様性に配慮した考えが必要であることは十分認識はしております。今後ランドセルの色につきましては、中間色等、調整等を含めた検討を今後行う必要があるということは考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

検討いただけるということで、子どもの頃はそういう概念がないけれども、ランドセルの区別によってすごく性差を意識するっていう子も非常に多いと聞いていますので、ぜひ、そういった子どもたちに寄り添う御検討をいただけるといいなと思います。

すみません、もう1点、関連といたしまして、こちらは市の財政ではなく保護者負担の話になるので、少しずれるとは思いますが、中学校の制服についてもお伺いいたします。

新川高校の制服が学ラン・セーラー服からブレザーになり、スカートとスラックス、好きなほうを選べるようになりました。また、現在、東海3県の公立中学校でも愛知県と三重県で約半数、

岐阜県では20%前後が同様にブレザーに変更されておりますが、本市としてのお考えはいかがでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野学校教育課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

制服につきましても、先ほどのランドセルと同じように、トランスジェンダーとか男女の性差の固定概念、また多様性というところで配慮した考えをしていく必要はあると、同様に考えております。また、近隣自治体でもそういった傾向であったりとか、ブレザーを取り入れるだとか、そういったことをしているということも承知はしております。私どももそれにつきましては、今後調査して研究してまいりたいというふうに今現在考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

学校の先生方とかにお話を聞くと、やはり思った以上に結構そういった性差であるとか、女の子でスカートをはきたくないというような子が多くて、教育現場でびっくりしているというような声も聞いてますので、ぜひ前向きに御検討いただきたいと思います。

ありがとうございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほか、飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

93ページで何点かお聞きします。

まず、小学校の整備費のところ、桃栄小学校、あと清洲東小学校、それぞれ長寿命化工事をしました。平成28年からスタートをしているものだと思うんですけども、各小中学校全てやって、非常に先進的な取組だということで、文科省の方からも非常に評価をいただいているという話も聞いておりますが、清洲東小学校だけ繰越明許になってしまったのはどういった関連なん

でしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

清洲東小学校のほうは、国の国庫補助金がついております。それで、補助金がつきましたのは、令和2年、前年度のところでついておりまして、裏負担の一般財源等の部分もそこで計上しております。ただ、時期が12月とか1月についておりますので、当然そこから3億円程度の工事が間に合いませんので、繰越しをして令和3年度に事業を行っておるような状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

工事の工程上の問題とかでなくて、資金調達の関連で延ばしたという認識でいいですね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

そのとおりでございます。

桃栄小学校のほうにつきましては、同様に長寿命化工事なんですけども、こちらのほうは国庫補助金、環境改善交付金のほうがついておりませんので、令和3年度予算のほうで計上させていただいております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

すると、桃栄は基金と一般財源で工事をやったという理解でいいですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

そのとおりでございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。

これで多分、市内の小中学校長寿命化工事は全て終わったと認識しております。

そもそも長寿命化工事というのは、一番古いところだと築60年、70年たってるものがあるんですが、そういったものをしっかり調査をして、今後先20年安全に使えるような工事を施すということで、各小・中学校、億単位の工事をやっていただいたと思います。

築20年持たせるということで、小中学校の現存のものを安全に使うという時間は取ったわけですが、例えば、根本的に一番古かった清洲小学校なんかは、今、生徒がどんどん増えておいて、運動会もできないような状況であるということがあったりとか、逆に、これから減っていく方向があるという地域もあります。隣の清洲東小学校は生徒が増えてもまだ余裕はあります。それぞれ受入れにばらつき、施設の大小規模についてばらつきがあったり、経年劣化の年数についてもばらつきがある中で、一応、最初にやった平成28年から一律20年ということなんですが、最初にやったものがもう既に6年経過しております。

私は一般質問で当時お聞きしたときに、20年リミットが来るまで待つということではなくて、学校に関しては、ほかに再編とか学区の編成ですとか、どんどん人口が増えている市なので、そういった課題も当然出てくると。そうすると、どれぐらいから取りかかるべきですかって質問したときに、当時の責任者の方がめどが10年で言われたんですね。そうすると、今は6年たっていて、そろそろ取りかからなきゃいけないというときに来てますけども、今後の清須市内の小・中学校の配置とか規模とか、また生徒を受け入れていく在り方とか、こういったものが何かお考えがあればお聞かせいただけますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

まず、清洲小学校についてでございますが、現時点におきましては、令和10年度まで教室の数は足りるというふうに見込んでおります。また、令和6年度につきましては、全ての学年が3

5人学級になることもありまして、この後、一旦ここから全体的にクラス数のほうは落ち着いてくると考えております。

また、出生数のほうを見ますと、令和8年度をピークに児童数のほうも令和10年度まで一旦減少に移ることが今現段階では予想されるなどしております。そういったことから、今後の児童数については、清洲小学校の建て替えだとか、学区再編の方向性、児童数の減少というような課題もございますので、こういった児童数のほうを注視していきながら、調査のほうをしてみたいというふうに考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

児童数の推移はよく分かるんですが、学校の建物は時間がたつことでどんどん劣化してきますので、このタイムリミットはおしりは決まっているわけです。それに対して今後どんな対策をされますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

委員おっしゃるとおり、建物の老朽というのはございます。もちろん老朽につきましては必要に応じて対処をしてみたいと考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

清洲小学校なんかは現存の建物は日影規制で引っかかっている、既存不適格ということも聞いておまして、どこかへ建て直すとなると南側にずらさなきゃいけないと。そうすると校庭が少なくなっちゃうという問題・課題がございますので、どこの学校も全部調べてないですが、そういったことをあらかじめ明らかにしておいて、建物はこれからずっと存在し続けなきゃいけないものですから、これは当然ですので、そろそろ前向きにお考えになる契機が来ているのではない

のかなと思いますので、よろしく申し上げます。

もう1点、生徒数が増えていくと、35人学級になるとクラスも増えるかもしれませんが、先生も当然増えます。何年か前に、清洲中学校だと思いうんですけど、多分、小学校も一緒ですけど、先生の職員室は今のコロナでいう密状態なんです。隙間がなくて歩けない、非常勤の先生なんかは1つのデスクをシェアリングしているという話になっているんです。職員室を広げるというのは今まで何かやられたことがあるんでしょうか。それとも今後またそういったことを検討されるんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長、吉野でございます。

度々そういった職員室の問題のことも聞いておまして、長寿命化のときに併せて、部屋を広げられるところはそういった対処をしておるところでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

教職員のなり手が昨今少ないと言われている状況の中で、教職員という職の、仕事の魅力を伝えようという活動をやっている方も見えるぐらいなので、せめてお仕事の環境をもう少し快適な仕事ができるように一度しっかり取り組んでいただければと思いますので、よろしく願いをいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

久野です。

中学校費のところで一点伺います。

公立中学校の部活動のことで伺います。

この6月にスポーツ庁が有識者会議で、休日の運動部の指導を担当の先生か顧問の先生が大変ということで、近隣のスポーツ関係の人に委託するよという答申を出したんです。2023

年から2025年の3年間の間という話があるんですけど、これは御存じですか。そしてお考えをお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

部活動の地域移行につきましては、令和5年度以降、段階的に地域移行を進めていくという提言がスポーツ庁、また文化庁のほうから出されているということは承知しております。また、その一方で、中学校の学習指導要領のほうには部活動がまだ記載されておりまして、教育の一環にも位置づけられております。また、県大会やそれ以上の上位の大会につきましても、学校単位で行われるなどしておりまして、大会の在り方についても大きな課題だと考えております。

今後、県や国を通じて、その地域移行についてまた方針等を出されるかと思いますが、他の自治体だとか国や県のそういった情報を注視しながら調査研究を進めて取り組んでまいりたいというふうに思います。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

ありがとうございます。

参考のために、市内中学校4校ありますよね。生徒数は多分清洲中学校が一番多いんですけど、清洲中学校に運動部って幾つあるんですか。教えてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

清洲中学校には文化部も含んでおるかもしれませんが、今16ほどあるというふうに思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

これは大変なことだと思いますが、向こう3年の間という答申が出てますので、努力してやってください。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほか、いいですか。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。度々すみません。

中学校管理費、小学校管理費のところも同じなんですけども、主要施策でいうと310ページ、小学校は301ページになるんですが、内容がほぼほぼ同じで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、ICT教育の推進を図るため、全ての普通教室等に大型掲示装置を設置するというございます。内容的にはこれに関して2点お聞きしたいなと思っておるんです。

まず、1点は、小学校・中学校ともに「ICT教育の推進を図るため」と書いてありまして、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の、3ページの生徒指導上の諸問題のところ情報モラル・セキュリティ対策とあって、ここに「学校の授業や持ち帰り学習を行うに当たって云々」とあります。これは留意事項を配布したと。「学校以外の目的で使用しない」、「学習以外の目的で使用しない」、「他人に危害を加える行為をしない」、「個人情報等をインターネットで公開しないこと」に対して同意を求め、適正に使えるように努めたと書いてあります。

ICTの教育は進んでいく中で、このモラル・セキュリティって、今、言われてることで、先般の国会でも、誹謗中傷で亡くなったタレントのことを受けて、侮辱罪の範囲が広がったりとか重くなったりとかしている状況にあります。「他人に危害を加える行為はしないこと」ってここにも明言があります。他人に危害を加える行為はしないとあっても結果的にしてしまっているとか、及んでしまってるということもネット上では非常にあるあるのお話なんですけども、こういったことを教育することをリテラシー教育と言いますが、これは小・中学校はどんなふうに、今、取り組んでいらっしゃるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山本教育部参事。

教育部参事（山本 由佳君）

教育部参事、山本です。

今お話があった情報教育のモラル的な指導っていうのはとても大事だというふうに思っています。学校では中学校ですと、情報モラル教育といって子ども向けの研修会を開いたりだとか、それから教員もICTの機器に関してのモラル的なことも日々変わっていきますので、そういった研修もしなきゃいけないということで、外部の講師を呼んで研修をしたりとか、そういったことをしております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今、外部の講師を呼んでってありましたのは、ぜひ、さらに進めていただきたいと思います。

これを読みますと、これやっちゃあかん、あれやっちゃあかん、確かにそうです。これはやっちゃ駄目です、あれはやっちゃ駄目です。何で駄目なんですかとか、どういう表現をしたらどう伝わってしまうんですかとか、どんな文言を使ったら誰かを知らないうちに傷つけていますかって、大人の世界では多分こういうことばかりなんですね。

お子さんのうちにリテラシー教育てちゃんとありますので、先生も一緒になってきちっと学んでいただく必要があると思います。今後さらに、小・中学校のカリキュラムの中で県も国も時間を取るのかな、分からないですけども、必要な教育なので多分進んでいくと思います。デジタル化の推進と併せてしっかりリンクをして、これからのことですので、現場にしっかり染み渡っていくような教育をしていただきたいなというのが1つ。

もう1点が、タブレットが前年度に1人1台導入されて、コロナ禍になってしまいました。コロナの中では、私が聞いている範囲では、最初は先生がプリントを配ったりとかやってたのを、一部タブレットに切り替えてやったりとかしているっていう話は聞いています。同じ報告書の2ページの安全対策の教育活動における安全というところの、これは多分重要なんでしょうね。点で囲ってあるところにこうやって書いてあるんですね。「新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの教育活動は、児童生徒や保護者の協力が欠かせないものであり、学びを止めないための工夫は今後も継続していく必要がある」、「継続する必要がある」という断言をされていますけど

も、なぜにこのような見解になったか、今のお考えをお聞かせいただけますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

もちろん今、コロナウイルスの感染状況、日々、第6波、第7波といった状況で変わってきておるんですけれども、今現在、全体の学校休校をするまでに至っておりませんが、もちろん学級閉鎖ということはある話ですし、また、当然、状況によっては全体の学校を休校ということもございます。また、今後、大きな災害といったことも、当然、避難訓練ではございませんが、想定した動きが必要だと考えておりますので、こういったタブレットを使って学びを少しでも止めないような工夫をしていきたいというところで、こういった文面を挙げておるところでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

お考えはよく分かりました。まさにそのとおりでしょうし、初めて起きていることなので、対応もそれぞれにやりながらつくっていかないかん部分もあると思うので、大変かと思います。コロナ禍になって3年になります。この間、学びを止めないための現場の対応というのは、今、市全域で小中学校ではどんなことをされているか改めてお伺いします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長、吉野でございます。

当初、一番最初にコロナウイルスで全体休校になったりだとかしたときには、まだタブレットの整備はできておりませんでしたので、プリントだったりだとか、ホームページ等を活用した学びを止めないというような学習の状況でございました。

また、1人1台のタブレットが配られたことによってタブレットを活用した学習、インターネット学習だったりだとか、タブレットを使って宿題を提示したりだとか、そういったことをして

おりました。

そして、また、子どもたちもその使い方に慣れたことによって、全体ではなかなかやれる機会はありませんでしたけども、学級閉鎖等々ときにはオンライン授業に近い形のものを、学校で行っている全く同じ時間割というか、カリキュラムではさすがになかなかできませんが、少しでもそれに近づけられるようなオンラインの授業に取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

お考えはよく分かりました。ただ、お考えは一人ひとりの生徒の下まで考えどおりのものが届いているかという問題があると思います。実は一部のエリアの保護者の方からこういう話をいただきました。

濃厚接触・陽性の方は学校に行けないと。行けない方がやっと学校へ行けるようになって学校に行って遅れた内容のことを聞こうとしたら、先生に「友だちに聞いて」って言われたらしいんですよ。結局、仲がいい友だちがおったとしても、10日分とかの板書を友だちからさせてもらうわけにもいかんでしょうし、今、言われとる話と現場の対応が違うなと思うんです。教職員の方からこういうことを言われたという保護者の方から声がありますけども、これに関してコメントがあれば。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

先ほど私が申し上げましたことは、クラス単位、あるいは学年単位、あるいは全体というところで申し上げたところでございますが、今、委員おっしゃってみえることは、お一人お一人の濃厚接触だったりだとか、陽性になったりしての自宅待機の状況を言われておると思います。それにつきましても、学校のほうにどういった対応をしているのかということ聞いておるところでございますが、コロナ等で欠席中につきましても、タブレットを全員または希望する子どもの自宅に届けて、授業の板書だとか、プリントとか、宿題等をタブレットに送付いたしまして、体調がよくなったらその課題に取り組んでくださいとか、また、そういった自宅待機のほうが終了い

たしまして、明けて出席後の対応のほうにいたしましても、自宅学習した際の分からない部分だとかを隙間時間を見つけて教えたりだとか、また、T2の教員が個別に教えたり、放課などの休み時間を利用して教えたりの対応をしておると考えておりますが、一部そういったことがございましたら、また再度、学校のほうに改めるように周知してまいりたいと思います。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

お考えはよく分かりましたけれども、保護者の方からこういう声が入ると、例えば、中学校だと受験の間近だと不安になるからこういう声があるでしょう。フォローが行き届いてないというのが、個人個人によって親御さんの感じ方も違うでしょうし、受け取り方も違うので、それに対して、今、「こういうことをやります」、「ああいうことをやります」、「こういうことをやっていると思います」って言うておられましたけども、本来は学校の先生に対してのフォローが必要なんじゃないですか。

休む子がたくさんいる、今日も対応しなきゃいけない、感染者が増えた、あの子は熱がある、こういうことを見ながら学校に来ている子に学校の勉強を教えなきゃいけない、というのは現場の先生ですよね。現場の先生は愛知県の職員ですけども、市の教育委員会としっかり連携して、愛知県とやり取りしながら、学校の先生をフォローせないかんのじゃないですか、問題を本質的に解決しようと思ったら。僕は聞いてそう思ったんです。保護者の方には「それはすみません」としか言いようがないんですけど、だけど、これは本来、学校の先生をフォローしてあげなきゃいかんのじゃないですか。そこら辺、愛知県と清須市の教育委員会とどういう連携になっているんですか。

コロナになってから2年、3年ですよ。こういうことって想定できたんじゃないですか。それがいまだにまだこういう声が上がってくるというのは、お考えどおりのことが現場でされてないことだと思います。お考えだけお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山本教育部参事。

教育部参事（山本 由佳君）

教育部参事、山本です。

御指摘、本当にありがとうございます。

保護者からのそういった思いだとかはきちんと受け止めて、教育委員会で校長会等ありますので、そういったところでお伝えをしたりだとかしていききたいというふうに思っておりますし、私のほうも情報収集をきちんとして、学校で起きていること、子どもたちの思いだとかも受け止めていききたいというふうに思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

教職ですから、お子さんの思いを受け止めて、保護者の方に喜んでいただけるように日々お仕事をされるのは当然だと思うんですが、当然という言い方は失礼ですけども、使命感を持って皆様やられておると思います。ただ、上層部の方々が現場の職員の先生のこともっとフォローしてあげないと、こういうことってなくならないと思います。結果的に生徒にしわ寄せが行っちゃうと。

今は落ち着いてきているので、今のうちに事例を拾って、現場の先生をどうやったら支えていけるか、今、ここに書かれとる教育を止めない、学びを止めないということをどうやって準備していくかということ、改めて根本的にしっかり捉え直して、具体的な対策を立てていただければと要望して、質問を終わります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

今は審議中なんですけど、ただいまより少し休憩を取りたいと思います。

10時55分、再開いたします。

よろしく願いいたします。

（ 時に午前10時41分 休憩 ）

（ 時に午前10時55分 再開 ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ただいまから建設文教常任委員会を再開いたします。

それでは、93ページまでありませんでしょうか。よろしいですね。

（ 「なし」の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

94、95ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

幼稚園管理費です、主要施策の316ページ、お考えをお聞かせいただきたく思ってお聞きします。

西枇杷島第1幼稚園の園児数なんですが、令和3年で134人、実は前年が156人だったんですね。その前の年は181人だったんです。結構この幼稚園て人気がある幼稚園だったと私は記憶しておるんですが、3年前に比べて50人近く人数が減ってしまっているんですけども、何でここまで減ってしまったのか。どんな見解をお持ちかだけお聞かせいただけますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長、吉野でございます。

西枇杷島第1幼稚園の園児数につきましては、令和元年度の10月から始まった幼保無償化による施策により、私立幼稚園に行っているお子様と、ニーズが認定こども園、共働きの保護者の方が増えたというところで、そういったニーズの部分と含めて減少しているのではないかとこのように考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

認定こども園の営業努力があった中で、そっちのほうがニーズがマッチングしたので、幼稚園に預ける方が少なくなったという認識になってしまうんですけども。認定こども園はたしか働いている親御さんにしてみれば、そちらで教育メニューも用意してたりすると、迎えに行った後にわざわざ習い事に送らなきゃいけないという手間も省けるので、非常に好評だと。逆に、こども園はそういうところを狙って、そういったメニューも組んでやっていらっしゃるっていう話はよく聞いてます。

今の幼児教育・保育無償化の中でこうなってきたということなんですけども、西枇杷島幼稚園

に関して今後どのような役割が重要だと思われていて、どんなふうな取組をして運用しなきゃいけないか。人数が減ってるから悪いとは言いませんけども、どんなふうニーズにお応えしていかなきゃいけないかというふうに思っているかだけお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

やはり中には近くの園に通いたい、また公立の幼稚園・保育園に通いたいという保護者も少なからずいらっしゃると思います。また、保育園のほうにもなかなか入れなかった方もいらっしゃると思いますので、そういう方の受入れのほうに力を入れていければというふうに考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

親御さんに安心していただけるように、ニーズにしっかりお答えいただきたいなと思います。

もう1個だけ、右側の主要施策の317ページのところに、西枇杷島幼稚園が下水道接続工事をしましたという報告が上がっています。1千300万円ほどの予算でやられとるんですけども、下水道がつながると、大体、マンホールトイレをつけましょうという話が出るんですが、こちらの幼稚園はこういった予定とか、そういう声っていうのは上がっているのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野でございます。

こちらのほうにつきましては、マンホールトイレのほうは設置してございません。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

多分この年に接続したばかりなので、マンホールトイレをこれからつけていこうとか、つけてほしいとか、つけていただいたらいいなみたいな地域の声とか、防災の関係のことをやっていらっしゃるから、そういった声はないですかということです。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

今のところそういった御意見等は伺っておりません。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

第1幼稚園につきましては避難所の指定がございません。それで、もちろん今、接続するところでは、いろんな公共施設でそういったマンホールトイレというのを協議・検討はさせていただきましたが、ここについては必要ないだろうということで、下水のみということにさせていただきます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

必要ないだろうということですね。また、地域ニーズがどこかで出てくるかもしれないので、しっかりまた聞いていただいて、お考えいただければと思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

引き続きまして、96、97ページ。

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

浅妻です。

学校支援地域本部費について伺います。

青い本の325ページになります。

こちらの事業なんですけども、地域コーディネーターを各校に配置し、地域と学校をつなぐ

て書かれてるんです。PTA等と少し重なるところもあるのかなと思ってまして、これがどのような事業なのか、令和3年度は具体的にどのようなことをされたのか教えてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅野生涯学習課長。

生涯学習課長（浅野 英樹君）

生涯学習課長の浅野でございます。

地域学校協働活動につきましては、主なものは図書の配付だとか、学校等の要望を聞きながら、いろいろお手伝いとかしております。実際に図書館の本を修繕したりとか、西枇杷島小学校だとクロガネモチのところでボランティア活動の一部をしたりとか、そういった活動をさせていただいている状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

今、図書の配付とか、いろいろボランティア活動という話が出たんですが、学校から図書の修繕のボランティアの募集があったりとか、保護者側にあると思うんですけど、そういったボランティア団体がひもづいているというような認識でいいんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅野生涯学習課長。

生涯学習課長（浅野 英樹君）

今すぐ資料はないんですけども、何十冊というのを図書館のほうにお配りして、回収して、また違う学校に持っていったりとか、要は、そういった図書館の充実を図っています。その中で、図書の修繕、破れたところをそのままセロテープで貼るんじゃなくて、図書館のほうで修繕講座を受けたりとかした上で図書の修繕とかをお手伝いしているという状況です。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

令和3年度の325ページでは学校支援地域本部費ってなってるんですけど、令和4年度の予算書のほうを見ると、地域学校協働活動推進費っていうふうに名称が変わっていると思うんです。これは名称変更の理由と、これまでの事業内容と何か変更があるのか、変更点等があれば教えていただきたいんですけれども。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅野課長。

生涯学習課長（浅野 英樹君）

大きな変更点というのはないですけども、実際には今までは学校支援地域本部となっていて、ボランティアの方がやっている状況で、今回、地域学校協働活動推進委員のほうで地域と学校をつなぐコーディネーターとして働いているという状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長、加藤でございます。

一部、課長の補足をさせていただきます。

まず、令和3年度のここに載っている学校支援地域本部というのは、実は平成20年度から西枇杷地区を皮切りに、今、全小・中学校区でこういった組織立てをして、ボランティア的な方とかが学校の要望に応じて、図書のことであるとか、花壇とか、草取りとか、いろんなことを協力していただいております。

それで、令和4年度に地域学校協働活動の名称が変わっておりますのは、やること自体はそんなに変わりませんが、国のほうがこういった活動に対して組織をきちっと明確化しろというようなお話がありまして、こちらに乗っからせていただきまして、こちらの推進委員などは例規に規定をして、報酬等をお支払いするというようなことも明記させていただき、活動内容も、学校の来年度についてはコミュニティスクールというのも計画しておりますので、そういったところと連携をできる支援員という形で令和4年度は動いておるといった状況です。

大きくは、やることは変わってない、学校のお手伝いをするということは変わらないんですけども、その方々の位置づけを明確化させていただいたということが主な内容でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

もう1点御質問しようと思ってたのが、事業内容を見ていたときに、今でも地域で割と学校に関わってボランティアをやっている方たちがいると思うんです。そこの差は何なのかと思っておきまして、今、伺わせていただいて何となくイメージはつかめたんですけども、地域と学校双方向の連携ということで、今、コミュニティスクールという言葉が出たんですが、多分、地域の方がボランティアに関わっていらっしゃるというところで、双方向ということなので、学校側がどのように動くのかなということが気になりまして、それがコミュニティスクールだとは思っています。この中身について、もうちょっと具体的に分かることがあれば教えていただきたいです。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤教育部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長、加藤でございます。

まずは、今年度この地域学校協働本部というのを立ち上げます。それで、来年度に向けて、今度は所管が学校教育課になるんですけども、学校の中の話になりますので、今のコミュニティスクールというような名称の組織立てを考えております。例えば、学校評議員のような方だとか、そういったような方々をメンバーにして、そのコミュニティスクールと地域学校協働本部が結びつくような形でいろんな協議をしていただく。今までは直接、学校の校長先生だったり教頭先生にいろんなお話とか要望とかをやっておったんですけども、そこはきちっと組織体系とかを整えまして、今後は進めていきたいと考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

細かいことはこれからだと思うんですけども、やはりかなり学校にいろいろな問題の負荷が

かかっているなどというのは思ってまして、でも、やっぱり人数とかリソースとかも限りがあることなので、地域との連携でよく言われることですが、しっかりと双方向のニーズを汲み取って、本当に助け合える組織になっていただきたいなと思います。きっちりと進めていただきたいなと思います。

ありがとうございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほか、よろしいですか。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

97ページの男女共同参画社会推進費、主要施策では320ページ、また321ページにおおむね書かれております。

事業目的として、清須市男女共同参画プランは令和3年度をもって計画期間の満了を迎えることからということで、第2次の参画プランの策定をいたしましたという内容になっております。それに対しての報告書のコメントは、27ページなんですけれどもこういうコメントがあります。

「第2次清須市男女共同策定プランに掲げる施策の推進に当たっては、SDGsの目標を意識して取り組むとあり、時代に合った男女共同参画の実現を目指していると評価できる」というように書いてあります。今年度、ヨーイドンでそのプランを基にスタートしておるわけなんですけれども、「SDGsの目標を意識して取り組む」、これは今年度具体的に、SDGsに取り組んでいるなど見えるような活動とか、具体的なものがあれば教えてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅野生涯学習課長。

生涯学習課長（浅野 英樹君）

特に具体的にというか、SDGsに沿った目標というか、具体的に何かをするという目標、活動とかというのは、特に今のところはまだやってはいないんですけれども、そういったものを目標として何かできればなと思っております。ただ、今回、今年度から女性の活躍推進宣言というのを清須市として宣言させていただきました。それについては愛知県のホームページに掲載させていただいているんですけれども、そういったところから少しずつやっていけばいいなと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

すばらしい宣言と思います。デジタル化の中でも女性人材の育成というのは明確に国でうたわれていることなので、また、この中にSDGsの浸透が少しでも進むように取り組んでいただければと思う次第でございます。また、今年度以降こういった形で取り組んでいくということは何らかの形で見えるように、また、周知ができるような発信をしていただけるといいなと思いますので、よろしく申し上げます。

SDGsに絡めてもう1個なんですけども、私、ここ数年、SDGsを教育に取り入れるべきと。文部科学省のセクションの中にもSDGsへの教育、SDEというんですが、ユネスコスクール認定をもらえるんですけども、これを進めるべきという形をお話ししておるんですが、小中学校でこういったSDGsに関して何か取り組んでいらっしゃることがあれば、教えていただきたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉野学校教育課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長、吉野でございます。

平成29年に公示されました学習指導要領のほうでは、持続可能な社会のつくり手にすることが求められるというふうにも記載されておりますし、また、これからの複雑な現代社会を生き抜くことができる力と持続可能な将来を実現できる子どもたちを育てていく必要があるということは十分認識しております。

そういうこともございまして、春日小学校のほうでは今年度に総合的な学習というところで、SDGsについてタブレットを使って調べ学習を行ったりだとか、西枇杷島中学校のほうでは中学校1、2年生が総合的な学習でございますが、講師を招いてカードゲーム等を使って、環境とか経済、社会について学ぶなどの取組をしております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ありがとうございます。

小学校でSDGsを学ぶことで得られる3つの力というのが実は提示されてまして、1つは世界へ目を向け、問題を発見する力、2つ目に必要な情報を自ら調べ、選択する力、そして3つ目に正解のない問題に立ち向かう力、こういう力をSDGsを学ぶことで小学校で得られるというふうに提示が実はされております。まさに今の世界情勢や日本の状況、これから少子高齢化という、今まで世界でも立ち向かったことのない課題に立ち向かっている時代にかかっていく子どもたちです。今、閉塞感が少しあるような感じがしますが、清須市は出生率が愛知県の中でもここ数年トップクラスの元気なまちでございますので、こういった力がしっかり子どもたちが養っていけるよう保護者の方と一緒に、大人も一緒に取り組んでいけるよう要望しまして終わります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

98、99ページ。

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

山内です。

子ども会活動費補助金についてお伺いします。

子ども会や市子連の活動に子どもの人数が少なくて参加できないといった場合、この補助金というのは頂けるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

補助金はございません。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

山内です。

分かりました。こういった理由で参加できないというところに対しても何か補助があればいいなと思っております。

この補助金というのは、自治体に入るものなのか、子ども会に入るものなのか、どちらなんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

この補助金につきましては、子ども会の会計のほうに入るものでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

山内です。

市子連の役員決めなんですけれども、今、輪番制で各字がいろいろ年ごとに順番が当たってくるんです。子どもの数が20人とか、少ないところとか、また多いところもあるんですが、少ない地区に回ったときに役員が当たる確率が非常に高くて、何度も当たってしまうということがありまして、そういった地域で小さなお子様、本当に手のかかるぐらいの小さいお子様がいる家庭に対しても当たっちゃうことがあるんです。そういう状態で会議に行かなければならないということもあって、大変負担になっているということも聞くんですけれども、こちら辺に対して何か手助けできるということはないのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

今年度、球技大会を改めまして、大縄飛び大会をさせていただいた際にも託児所を設けてほしいという要望がございましたが、今のところ考えてございません。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤教育部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長、加藤でございます。

委員おっしゃるように、子ども会については本当に徐々に年々人数が減ってしまって、どの地区も存続が非常に厳しいということはお聞きしております。それで、市の子ども会という中にそれぞれの地区に子ども会があり、それぞれ自治会単位で上がっていくところがほとんどなんですけども、どうしても自治会で子どもの数が少ないところについては役員の問題で脱会してしまうとか、例えば、5年生、6年生になるから、今度は順番に回ってきてしまうからやめてしまう。そういったようなこともお聞きしておりますので、今、子ども会の会長はじめ役員の皆様に関しては、できるだけそういった御負担が地域の事情によってかからないような運営の仕方というのも考えていってほしい、という指導のほうはさせてはいただいておりますが、どうしてもお子さんの数が地域によって減っているということが非常に大きいものですから、なかなか歯止めがかかってないという現状です。

一例ですけども、春日地区には、さくら子ども会というのが今の自治会を越えたところ、春日に11地区あるんですけど、4地区しか今、子ども会はないです。ただ、それ以外の7地区から誰でもいいよというような形でさくら子ども会という形で組織をつくっていただいているという組織もあります。そういったようなところもうまく支援を、スポーツ課としても今後していきたいなど。子ども会に歯止めがかかるように進めていきたいと考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

山内です。

ありがとうございます。

例えば、小さいところを集合させて、大体、子どもたちの数をそろえて合併というんですかね、そういうのも含めて市のほうからも、そういう方法があるよと指導していただいて、それが選択に合うようであればお勧めしていただきたいと思います。

私の質問を終わります。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

私からは、夢広場はるひというところで御質問させていただきます。

厳密に言いますと、市立図書館の件になるんですけども、こちらは令和元年にこの目標とします15万冊というものは達成できたと。今後こういった本の増冊というか、置く量を増やしていくかどうかということも委員会のほうで話されたときに、延床の強度だったりとかする関係で、これ以上は望めないかもというようなお答えがあったかと思うんです。そこから令和3年、4年にかけて、何かこういったことを検討協議されたことがあるのかということと、今、コロナ禍でこういった需要、ニーズというのが増えてくる中で、何か打開案、解決策として検討されていることがあれば教えていただきたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅野課長。

生涯学習課長（浅野 英樹君）

生涯学習課長、浅野でございます。

委員のおっしゃっている15万冊、令和元年15万1千冊、令和3年度末につきましては15万8千891冊というように増冊させていただいております。ただ、委員のおっしゃったとおり、耐荷重の関係で15万冊が限度だということで、いろいろ検討している中で、耐荷重に関係ない電子図書を導入できないかということを図書のほうと打合せをしておる現状でございます。ただ、導入できるかどうかということとかも、時期についてもまだ調整中ですので、まだ不透明なところがあるんですが、そういったものを検討している状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

すごくいい解決策だなと思いますので、他市町でどこがやっているのかは存じ上げておりませんが、そういった情報も含めて取っていただいて、運用できる体制というのを検討していた

だくことをお願いいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

最後に、100、101ページ。

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

浅妻です。

学校給食センター費について伺います。

関連になるのか分からないんですけど、1つお伺いしたいのが、今、民間の認定保育園等について、県のほうから1食当たり40円を上限に補助金が出てたと思うんですけど、それがたしか9月か10月までだったような記憶をしまして、県の方針になってしまうと思うんですが、これは今後も継続されるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

当局。

総務部長（岩田 喜一君）

総務部長、岩田です。

今の所管は福祉委員会になりまして、継続するかどうかという話ですが、9月議会の最終日に継続する追加の補正予算を上程する予定であります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

すみません、違うところのを聞いてしまって申し訳ありませんでした。でも、継続していただけるということで安心いたしました。ありがとうございます。

また、市の直営の保育園とか小中学校については、以前7月のときだったと思いますけれども、市長のほうから、今年度については保護者負担はしないというようなことを言っていたと記憶しております。ただ、今、実際、物価高騰が続いておりまして、全体でも2.6%上がっているというようなことも言われてます。質を落とさない工夫等々を給食センターのほうは大変か

と思うんですが、今やられてる現状についてお聞かせいただければと思います。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉田給食センター所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所、吉田でございます。

現在、献立が10月までは確定しております。10月分までの賄い材料費の歳出を1日分の賄い材料費というところで日数で見えていきますと、現状としては数字でいいますとマイナス3%ぐらい余裕がある状況です。

ただ、委員の先ほどおっしゃられたように、今後、冬にかけて物価高騰が見込まれますので、そのときにつきましては、7月の臨時議会のときに話があったかと思いますが、保護者負担については今のまま据え置きまして、現状の給食献立が提供できないという判断がされれば歳出のほうの予算を増額して対応させていただくということで考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

浅妻委員。

浅妻 奈々子委員

ありがとうございます。

物価高騰でそれぞれの家庭にも影響が大きいと思いますし、保護者側からいきますと給食を頼りにしております。今年度は据え置いていただくということですがけれども、今後上がり続けるようなことがあっても、そこについては補償していただきたいなという要望と、今はすごく大変だとは思いますがけれども、しっかりと考えられたメニューを提供していただけるように、試行錯誤のほうを続けていただきたいなと思います。

ありがとうございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほか、ありませんでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

認定第1号 令和3年度清須市一般会計決算認定所管分についての採決をいたします。

賛成の方々の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、認定第1号 令和3年度清須市一般会計決算認定所管分については、認定すべきものと決しました。

次に、議案第43号 令和4年度清須市一般会計補正予算（第5号）案所管分について説明をお願いいたします。

吉野課長。

学校教育課長（吉野 厚之君）

学校教育課長の吉野でございます。よろしくをお願いいたします。

それでは、議案第43号 令和4年度清須市一般会計補正予算（第5号）案、建設文教常任委員会教育部所管分を一括して御説明いたします。

初めに、令和4年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書の24、25ページを御覧ください。

10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、15万5千円の減額、3節職員手当等から4節共済費まででございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は、一般職常勤職員の給与改定を踏まえた期末手当の支給月数の引下げ等に係る会計年度任用職員人件費の減額でございます。

続きまして、2項小学校費、1目学校管理費、補正額5千828万8千円の増額、3節職員手当等から17節備品購入費まででございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は期末手当の減額でございます。

小学校管理費の西枇杷島小学校管理費から春日小学校管理費までは、原油などの価格高騰の影響を受け不足が見込まれる電気料金等の増額でございます。

小学校整備費は、清洲小学校の普通教室化改修工事及び新川小学校、桃栄小学校のプール槽塗装工事の工事費等の増額でございます。

続きまして、3項中学校費、1目学校管理費、補正額2千89万1千円の増額、3節職員手当等から14節工事請負費まででございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は、期末手当の減額でございます。

中学校管理費の西枇杷島中学校管理費から春日中学校管理費までは、電気料金等の増額でございます。

中学校整備費は、新川中学校の体育館バスケットゴール取替工事及び春日中学校のプールサイドシート貼替工事の工事費の増額でございます。

1枚おめくりいただきまして、26、27ページを御覧ください。

4項幼稚園費、1目幼稚園管理費、補正額269万6千円の増額、3節職員手当等から14節工事請負費まででございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は期末手当の減額、西枇杷島第1幼稚園管理費は電気料金等の増額でございます。

西枇杷島第1幼稚園整備費は、手洗い等の非接触水洗取替工事の工事費の増額でございます。

続きまして、5項社会教育費、1目社会教育総務費、補正額3万1千円の減額、3節職員手当等と4節共済費でございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は期末手当の減額でございます。

続きまして、2目公民館費、補正額738万9千円の増額、3節職員手当等から10節需用費まででございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は期末手当の減額、清洲市民センター管理費及び春日公民館管理費は電気料金等の増額でございます。

続きまして、3目文化財保護費、補正額2万2千円の増額、10節需用費でございます。

説明欄を御覧いただきまして、西枇杷島問屋記念館管理費は電気料金の増額です。

続きまして、4目社会教育施設費、補正額1千41万円の増額、10節需用費と12節委託料でございます。

説明欄を御覧いただきまして、にしびさわやかプラザ管理費、夢広場はるひ管理費及び西枇杷島会館管理費は、電気料金の増額でございます。

続きまして、6項保健体育費、2目体育施設費、補正額4千64万8千円の増額、3節職員手当等から12節委託料まででございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は期末手当の減額です。

清洲勤労福祉会館管理費、新川地域文化広場管理費、西枇杷島野球場管理費、1枚おめくりいただきまして、28、29ページを御覧ください。及び春日グラウンド管理費は、電気料金等の増

額でございます。

続きまして、3目給食センター費、補正額2千298万4千円の増額、3節職員手当等から10節需用費まででございます。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は期末手当の減額、学校給食センター管理費は電気料金等の増額でございます。

建設文教常任委員会教育部所管分の説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

1つ教えてください、不勉強なので。

今ずっと説明された中で、電気代等の増額によりということでお金が必要だということでありますが、例えば、同じ電気代増額でも、国県支出金が財源に入っているところと国県支出金が入ってないところがあるんですね。これは地方創生臨時交付金が使える、使えないとか、そんな話なんですか。どういう仕分けになっているのかだけ。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

当局。

企画政策課長（林 智雄君）

企画政策課、林です。

臨時交付金につきましては、充当している部分に関しては、事業者支援ということで、指定管理の施設に対して充当しているということでございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほか、質疑ありませんでしょうか。よろしいですか。

成田委員。

成田 義之委員

成田です。

ちょっとお聞きしたいんですが、27ページ、新川地域文化広場の977万1千円はやはり電気料金のことか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

電気料金でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

関連で質問させていただいていいかな、委員長。

カルチバの全体の委託というのはやっておるのか、それとも、カルチバの建物だけの管理をやっておられるのか、今の温室ありますわな、あれも含んで管理をやっとるのか。私も長年やっあって、その辺、疎いもんで教えてもらえないですかね。この管理はどういうふうに扱っているのか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

建物の管理及びプール等の運営、また温室等の管理につきましても、指定管理であります業者にやっさせていただいております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

成田です。

そうすると、建物から敷地全体をハマダスポーツがやっすると、こういうことでよろしいです

か。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤スポーツ課課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤です。

委員のおっしゃるとおり、全体を管理していただいております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

草が生えとるのは管理をしてないということかね、見てもらうと分かると思うんだけど。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

公園側は都市計画課のほうで管理もしております。委員おっしゃいますのは、駐車場周りですか、温室の周りも草があるかと思いますが、定期的に清掃を行っており、今後ひどいようでしたらこちらのほうから指導いたすようにいたします。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

だけど、長年ハマダスポーツがやっとして、そうすると1年に何回ぐらいがそういうことをやるよという決まりを行政のほうでしてないわけですか。例えば、1年に2回ぐらいしなさいよと。しょっちゅう見ることはないからね、だから、最低でも1年に1回か2回草刈りをやるのと一緒で、1年に2回ぐらいはやりなさいよという指示は行政のほうで出してないわけですか。見てもらうと分かると思うんだよね。現場へ行ってもらおうとね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

指示をするようにいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

方向を変えて、温室ね、今、中はどんなふうな管理でどういうふうにやってみえるのかね。温室の中ね、見られたことあるかな。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長の加藤でございます。

委員御指摘のとおり、草の繁茂につきましても、基本的には月に一度、モニタリングという形で全て見させて評価させていただいて、駄目なところは指摘をするという形を取っております。ですので、私もたまに見るんですけど、おっしゃるとおり、草が激しいところもありますので、今後はさらに指導していきたいと思っております。

温室につきましても、温室で何かを作ってくれということまでは指定はしておりませんが、管理はしてくれということですので、私も最近では一度入ったことがあるんですけども、言葉は悪いんですけど、それなりに管理はされておるなというふうには思っております。

また、ボランティアについても、あそこのあたりに清掃等の御協力もいただいております。とも聞いておりますので、完全な形ではないのかもしれないんですけども、管理はされておると認識しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

成田です。

部長おっしゃるとおりだと思うんだけど、管理をしておるというのはどういう意味かね。私は理解に苦しむんだけど。管理をしておるというのは、利用価値をきちっとやっとなんか管理しておることなのか、いつも温室の中を見学して、すばらしいねというふうになっているようなことを管理しておることなのか、その辺はどうかね。管理の意味が分からない。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

おっしゃるとおり、絶えず花や木々がきれいに整備されておるところを管理ということになれば、少し劣っておると思います。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

何か今おっしゃったね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

完全なるきれいな状態で、温室という概念の管理ができているかということ、それは劣っておると思っております。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

劣っておることについて管理者には言っているわけ、ハマダスポーツには。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤教育部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

ここ最近は申し訳ないんですけども、今、御指摘のとおりです。以前はドラゴンフルーツを栽培してみたりということは聞いておりますが、今後、ある温室でございますので、利用者の方が快適に過ごせるような環境整備の指導をしてまいります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

それ間違いないかね。私、1年後にまた質問するけど、そのときにいないからということでは

駄目だよ。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤教育部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

確実に引き継ぎます。といいますか、今の温室というものに関して、今、御指摘をいただきましたので、今よりも環境をきちっと整備をするように指導はさせていただきます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

何か提案してね、温室をうまく活かすような方法が考えられたらどうですか。例えば、全部バナナ園にしちゃって、そして学校の給食センターにバナナを使うとか、頭ないんで単純なことしか思い浮かばんけど、せっかくあるもんだから、お金を使って管理しているんだから、私はそんなような気がするね。

元へ戻って申し訳ないけど、成果書の357ページ、1千300万円の補償の問題が出ているわね。これも電気料のことかね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

スポーツ課課長補佐の佐藤でございます。

損失補償につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により休業したことによるその休業補償でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

これは誰に休業補償を出してるわけですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

佐藤課長補佐。

スポーツ課課長補佐（佐藤 嘉起君）

指定管理者の業者でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

指定管理者には委託料を払ってるわけでしょう。委託料を払った上に、休業したからまた金を払うわけ。その説明をしてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤教育部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長、加藤でございます。

申し訳ございません。

この施設は収入もございます。利用者の方にプールへ入っていただいたり、いろんな施設を使っていたり、そこの部分の収入と、あとは維持管理費といいますか、そういったものとの差額を人件費とかを含めて指定管理料で積算をして支払っておりますので、この部分が収入がゼロになってしまう部分については、そこを積算をして補償料として支払っておるという状況でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

1千300万円の根拠で、そんなに出るのかね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤教育部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

こちらにつきましては、きちっと細部の積算をしまして出した数字でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

大体ね、この業者とは契約しているから変更できへんよね。だから、業者が持ってきたものに対して、本当に精査したかということをお聞きしたんだけどね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

加藤教育部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

過去3年間の実績に基づいて、この時期こういった事業をやって、こういう参加料が見込まれる等々、平均値を出しまして積算をしております。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

成田委員。

成田 義之委員

間違いないわけだね。自信を持って言えるわけだ。僕はね、多少なりともまけてもらわないかんとするよ。数字上だけで足し算、引き算やったんじゃないでね、ここだけが苦しいわけじゃない。ほかの一般企業だってみんな苦しいんだから、言われたとおりに出すんじゃないで、その辺は民間企業だったらまけてもらうということは当たり前だから、この辺は積算したから間違いないじゃないで、交渉すべきだと私は思うけどね、個人的にはね。いいですわ。

ありがとうございました。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

要望で。

ほかにありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

議案第43号 令和4年度清須市一般会計補正予算（第5号）案所管分について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、議案第43号 令和4年度清須市一般会計補正予算（第5号）案所管分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、発議第3号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）を議題といたします。

本会議において朗読説明をしていただいておりますので、委員会での朗読は省略いたします。ただいまから審議に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いします。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

発議第3号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます

よって、発議第3号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、建設文教常任委員会に付託されました全議案の審議は終了いたしました。

なお、従来どおり、常任委員会の閉会中の継続審査の申出をすることに御異議ございませんでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

異議はございませんので、議長に閉会中の継続審査の申出書を提出いたします。

また、委員長報告につきまして、正副委員長に御一任いただけますでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

異議はございませんので、そのように決定いたします。

これをもちまして、建設文教常任委員会を閉会いたします。

二日間にわたる御審議、お疲れさまでした。

(時に午前 1 1 時 4 7 分 閉会)

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和4年9月16日

建設文教常任委員会委員長 岡山 克彦